2025年09月08日 23:00

お世話になっております。  
  
商品勘定の帳票で明細が0件で集計行のみ表示される事象についてご報告いたします。  
  
1. 現状の課題  
  
明細0件の集計行が発生する理由：  
前日残高（前残）のみ存在し、当日の取引がない商品グループにおいて発生しております。現行システムでは前残の明細表示機能が未実装のため、集計行のみの表示となっております。

→この場合、添付の商品勘定のように、明細行の先頭行に「前残」として、前日残の数量がある場合のみ、その「前残」としての1行を印字してください、売上も仕入も在庫調整もないので、その「前残」の1行のみの印字となります。

前残も、売上も仕入、在庫調整もない商品は、CＰ在庫マスタにキーがあっても、印字するものがないので、前残0の印字は不要です。

日次終了処理との連携について：  
日次終了処理が未実装のため、前日以前の在庫情報の取得方法が確立されていない状況です。例えば、9月1日の処理時に、8月31日以前の前残明細を参照できません。  
→日々の「日次終了処理」でその日の数値「前月残」「当月数値」「前日残」「当日数値」がセットされたものを都度稼働する期間は毎日保存するので、それで前日残を参照してください。

本日2025年8月30日の在庫マスタをZAIK2508.csvでお送りしました。

現行システムの日時終了処理相当のタイミングでの2025年9月1日の在庫マスタ「ZAIK20250901」、9月2日以降の在庫マスタ「ZAIK20250902～」を明日以降随時送りますので不要ならご連絡ください。

この既存システムの在庫マスタの日々の在庫数量、単価、金額および粗利益の変化がセットされております。

また現行システムは、仕入金額に乗ずる完納奨励金は対応しておりません。また、得意先ごとのリベートに相当する歩引き金も在庫マスタには持っておりません。

現行システムの移動平均の計算式が正しくないのではと思えてきました。

その場合は、現行の演算ロジックは変更しないといけません。

2. 解決方針  
  
上記課題を解決するため、「移行用在庫マスタ」を新設し、以下の仕組みで実装を進めさせていただきます。  
  
処理フロー：  
(1) CP在庫マスタにて当日の在庫情報を計算  
(2) 日次終了処理実行時に、残存在庫情報を「移行用在庫マスタ」へ記録  
(3) 翌日の商品勘定作成時に、「移行用在庫マスタ」から前残情報を取得  
  
システム設計の特徴：  
データセット管理方式を採用し、過去データの復元を可能にいたします。また、在庫マスタと移行用在庫マスタを独立管理することで、システムの安定性を確保いたします。移行用在庫マスタに不具合が発生しても在庫マスタには影響せず、必要に応じて容易に復元可能です。  
  
追加メリット：  
この「移行用在庫マスタ」は、初期在庫データの取り込みと統合いたします。これにより、システム導入時の在庫データ移行もスムーズに行えます。  
  
3. 今後の対応  
  
移行用在庫マスタの実装、日次終了処理との連携機能の開発、前残明細の表示機能の追加を順次進めてまいります。  
  
以上の実装により、商品勘定帳票の完全な機能提供が可能となります。  
  
ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。  
何卒よろしくお願いいたします。